

先週の説教要旨

『汚れた霊を追い出す』井上隆晶牧師
イザヤ 35 : 3~8、ルカ 4 : 31~41

①【悪霊の働き】イエス様はカファルナウムの町で、安息日に会堂に行き、教えておられました。その時、会堂の中に汚れた悪霊に取りつかれた男がいて大声で叫びました。「ああ、ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」(34節)パウロは悪霊の働きについてははっきりと書いています。「この世の神が、信じようとはしない人々の心をくらまし、神の似姿であるキリストの栄光に関する福音の光が見えないようにしたのです。」(Ⅱコリント 4:4) この世の神というのは悪霊のこと(悪霊が作り出した偶像)です。悪霊は、人の心をくらまし、キリストを信じられないようにします。悪魔は神から人を引き離すか、または間違った神や間違ったメシアを教えようとします。

②【人間の抵抗】会堂の中に汚れた悪霊に取りつかれた男がいたことを驚く方がおられるのではないのでしょうか。しかしイエス様を一番殺そうとしたのは、律法学者や祭司などの宗教者たちです。神に一番近い人たちが、悪霊に利用される、悪霊の道具となるということはあるのです。本物が来れば、偽物は暴かれてしまいます。主人が帰ってくれば、僕は主人の座を降りなければなりません。イエス様が語り始めた時、自分が偽物であることがはっきりと分かったはずですが、それなのに祭司長や学者たちは、自分の中に潜む悪や偽りを認めず、権力の座から降りようとはしませんでした。偽り(偶像)や権力にしがみつかせさせたのは悪霊の仕業です。しかしこの男の人は、イエス様という光が入ってくることに

よって、自分の心が照らされて偽りの自分が露わになったので声を出して抵抗したのです。自分がこの方には勝てない事を知っているので「かまわないでくれ」といいました。祭司長たちよりましです。この男は「正体は分かっている。神の聖者だ。」といいました。悪霊は人間よりもイエス様を知っています。しかし「我々を滅ぼしに来たのか」とも言っています。イエス様はけっして人を滅ぼすような方ではありません。真実と嘘をごちゃまぜにして言うのが悪魔のやり口です。だから悪霊の告白に耳を傾けてはいけません。だからイエス様は「黙れ。」と命じます。

③【悪霊を追い出す目的】聖書に「わたしが神の霊で(ルカでは神の指で)悪霊を追い出しているのであれば、神の国はあなたたちのところに来ているのだ。」(マタイ 12:28)という言葉があり、また「聖霊によらなければ、誰もイエスは主である、とは言えないのです。」(Ⅰコリント 12:3)という言葉があります。聖霊によらなければ悪霊は出て行きませんし、イエス様を信じることもできません。キリストがその指で(神ご自身の指で)悪霊を追い出すのは、その人の中に神の国を造るためであり、聖霊をその人の心に住ませ、イエス様を信じさせるためです。でも悪霊が追い出されてもすべての人がイエス様を信じる訳ではありません。100人カルトを辞めても、キリスト信者になるのは10人くらいです。空き家になっている人が多いのです。そうすると前よりもっと悪い霊が入ってしまいます。残念です。聖霊に住んでもらうためには、私たちの意志が必要なのです。人の体は、本来神の住まいです。悪霊の住家ではありません。イエス様の言葉は悪霊を追い出し、その人を正気に戻す力があります。イエス様の弟子とは、イエス様の言葉を聞いてひっくり返った者なのです。↑

週報

日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立 1957年12月1日 教会設立 2001年12月2日
〒534-0012 大阪市都島区御幸町 2-6-17

TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120

Eメールアドレス: miyakoch@eagle.ocn.ne.jp

ホームページアドレス: <https://miyako.jima-church1.com>

郵便振替 00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所

主任牧師 井上隆晶

2025年2月9日 No.1806



《いちじく桑に登ったザアカイ》

都島教会の2024年度の宣教方針

標語 《会堂建築の準備をしよう》

聖句 「イエス・キリストという既に据えられている土台を無視して、だれもほかの土台を据えることはできません。」(Ⅰコリント 3:11)

2024年度の目標

- 1 毎週礼拝を守り、礼拝出席平均 27 名を目指します。
- 2 一年間に一人を礼拝にお誘いします。
- 3 会堂建築のための具体的な準備をします。
- 4 皆で教会を建てる意識を育てます。